

学校名	福島県立安積高等学校	職 氏名	校長 森下 陽一郎
-----	------------	------	-----------

## 1 学校経営・運営ビジョン

本校は、開拓者精神のもと、高い志をもち、文武両道を貫きながら、自分の夢の実現に向けて努力を続ける生徒の育成に努めます。

そのため、教職員が一丸となって、生徒一人一人の高い志を育み、生徒の夢を叶える学校を目指します。

本年度は次の目標を掲げ、その実現に向けて努力してまいります。

- (1) 自主自律の精神を涵養し、自ら学び深く考える態度と豊かな感性を育てます。
- (2) 授業の質を高め、授業第一主義で確かな学力と高い知性をもつ生徒を育てます。
- (3) 生徒一人一人の能力を伸ばし、より質の高い進路目標の実現を図ります。
- (4) 時間を有効に活用し、家庭学習や部活動に積極的に取り組む生徒を育てます。
- (5) S S H（スーパーサイエンスハイスクール）の教育プログラムを推進します。
- (6) 中高一貫高の開校に向けて、ソフト・ハード両面の整備を推進します。
- (7) 教職員自ら、高いコンプライアンス意識の保持に努めます。

## 2 具体的な教育活動

- (1) アクティブ・ラーニングを取り入れた授業により、生徒の主体的・協働的な学びを育むとともに、校内研修をとおして教職員の力量を高め、生徒のニーズに適合した質の高い授業を行います。
- (2) 安積セミナー・大学見学会・各種講演会等を実施し、早期に生徒に高い進路目標を設定させ、定期考査・校内模擬試験の質を高め、難関大学入試に合格できる学力を養成します。
- (3) 部活動休養日の計画的な確保及び部活動終了時刻（18時30分）の徹底や土曜開放の実施等により、家庭学習の時間を確保しつつ部活動の更なる活性化を図り、「文武両道」の実践を行います。
- (4) 定期的な個人面談や生活・学習の実態調査を行い、教育相談やカウンセリングを取り入れながら、生徒一人一人の進路実現を計画的に支援します。
- (5) 地域とともにある学校の実現に向けて、S S H事業において産学官連携を推進するとともに、地元経済界からの支援による事業拡大を図ります。
- (6) I C Tを活用した能動的、効率的かつ個別的な学びを提供し、次代を担い人類に貢献できる有為な人材を育成します。
- (7) S S H指定Ⅲ期にあたり、「チーム安積モデル」により、地球的課題解決に向けた国際共創力を有する科学技術系リーダーを育成します。

## 3 求める教員像

次の(1)、(2)の項目を満たす30代から40代の教員を求めます。

- (1) 教科指導、校務分掌、SSH事業、部活動等に係る業務に対して、バランスよく最善を尽くすことができる意欲のある教員
- (2) 「安積」の中高一貫教育の確立に向けて、積極的に校務の運営に係わることができる情熱のある教員

**\* 募集教科 英語 1名 計 1名**

## 4 その他

問い合わせ先 住所 郡山市開成5-25-63  
電話 024-922-4310